

森林調査法入門

日時：2014年11月14日 13:00 ~ 15日 14:00

場所：福島県伊達郡川俣町山木屋地区

講師

14日：宇都宮大学農学部	大久保達弘
同上	飯塚和也
名古屋大学大学院生命農学研究科	竹中千里
15日：東京農工大学農学部	吉田智弘
名古屋大学大学院生命農学研究科	肘井直樹
同上	金指努

参加者

氏名	所属	学年	
松永 静	大阪大学大学院理学研究科化学専攻	M1	
張 子見	大阪大学大学院理学研究科化学専攻	D1	
渡邊 菜月	横浜国立大学建築都市環境系学科地球生態学EP土壌生態学研究室	B4	
福地	筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻	M2	
志賀	筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻	M2	
野上	筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻	M2	
黄	筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻	M2	14日のみ
市毛	筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻	M2	14日のみ
池田	筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻	M1	14日のみ
岡	筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻	B4	
杉	筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻	B4	14日のみ
羽田野 祐子	筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻	教員	

内容

14日 (13:00-16:00) 曇り時々雨

1. 山木屋小学校の森林除染現場の見学

小学校側の林縁から10mの森林を皆伐し、伐採木をウッドチップ化して林床に敷く作業を行っている現場を視察した。また、林縁から森林内に移動するに従って、放射能汚染による空間線量が変わることを実測した。



2. 森林土壌調査

研修生を3班にわけ、山木屋地区世戸八山の尾根部のアカマツ林、谷部のスギ林、斜面部の落葉広葉樹林の各林地において、1箇所ずつ観察用の試孔を掘り、土壌断面観察を行い、「適地適木」の意味を、土壌の違いから理解した。また、土壌表面と土壌孔の中での放射線量が異なることを実測し、土壌表層に放射性物質が多いことを確認した。



3. 植物試料採取：

樹木試料の採取方法として、円板の採取と成長錐を用いた年輪コアの採取を実演した。

15日 (10:00-14:00) 雨時々みぞれ

1. 講義 (山木屋地区公民館にて)

林床リターのサンプリング方法、異なる樹木堅果の食害調査方法、土壌動物の調査法について、室内で講義をおこなった。



2. リターおよびどんぐり調査

山木屋地区世戸八山の落葉広葉樹林において方形枠(50cm×50cm 4箇所、1m×1m 1箇所)から、どんぐりを含むリター一部を全て採取し、重さを測定した。その中からどんぐりを選別し、ミズナラ・コナラのどんぐりを分類した。それらの内部状態の観察(虫害、変質、健全)をおこなった。

3. データ整理

公民館にて、リターの重量データを整理し、調査結果の総括を行った。

